

科目名	スポーツ実技Ⅱ	英文表記	Physical Education Ⅱ	2012年3月18日					
科目コード	5009								
教員名:末吉 つねみ 技術職員名:				作成					
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間		
全学科		5年	選	履修	1単位	実技	後期		
科目目標	生涯スポーツを理解できるようにする。各スポーツの実践方法、基本技術を習得する。生涯にわたり自発的にスポーツを実践し、継続して身体活動を行う習慣を身につける。								
総合評価	各種目のスキルテスト45%+振り返りカード15%+各種目のグループ学習への取り組み状況20%+観察評価20%								
達成度目標と評価方法	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法					
	①	各スポーツの実践方法、基本ルール、基本技術を習得する。			⇒	各スポーツのスキルテスト、観察で評価する。			
	②	チームの戦術研究、作戦の立案を反省を通して、コミュニケーション能力を身につける。(機C-4,情C-1,メC-4,生C-2)			⇒	各種目のグループ学習への取り組み状況(学習カード記入)で評価する。			
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
		○		◎	JABEEプログラム教育目標	C-4	C-1	C-4	C-2
授業概要、方針、履修上の注意	【授業概要と方針】 各スポーツのルールやマナー、安全対策について学習する。 各スポーツ種目の学習はグループ学習を基本とする。球技ではチーム戦術研究、作戦の立案と反省を通して、コミュニケーション能力と自己学習能力を身につける。 【履修上の注意】 ・実技では半袖シャツと短パン(ハーフパンツ可)を着用すること。 ・アクセサリや腕時計等は安全のため外すこと。 ・やむを得ない事情によって見学を希望する場合は、授業開始前に見学届を提出すること。								
教科書・教材	・各スポーツの基本ルールと技術についてのプリント(教員自作) ・作戦及び自己評価カード(教員自作) ・参考:「アクティブスポーツ」(大修館書店)								
授 業 計 画									
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				自学自習(予習・復習)内容		
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
期末	期末試験	[2]							

16	授業ガイダンス・卓球	2	授業の進め方と準備の説明。基本技術(サービス、レシーブ)を習得する。	
17	卓球	2	基本技術(サービス、レシーブ)を習得する。基本ルール(ダブルス)を理解する。	
18	卓球	2	基本技術(サービス、レシーブ)を習得する。試合(主にダブルスゲーム)を通して実践能力を身につける。	
19	バレーボール	2	基本技術(サーブ、レシーブ、トス、スパイク)を習得する。試合を行う。	
20	バレーボール	2	基本技術(サーブ、レシーブ、トス、スパイク)を習得する。スキルテスト、試合を行う。	
21	バレーボール	2	基本技術(サーブ、レシーブ、トス、スパイク)を習得する。スキルテスト、試合を行う。	
22	バレーボール	2	スキルテストを行う。試合、作戦の立案を通して実践能力を身につける。	
23	ニュースポーツ	2	グラウンドゴルフの基本技術、基本ルールを習得する。	
24	ニュースポーツ	2	ユニバーサルホッケーの基本技術、基本ルールを習得する。	
25	ニュースポーツ	2	ユニバーサルホッケーの基本技術、基本ルールを習得する。	
26	ニュースポーツ	2	スキルテストを行う。試合、作戦の立案を通して実践能力を身につける。	
27	ソフトボール	2	スローピッチソフトボールを中心に学習する。基本技術(スローイング、キャッチング、バッティング)を習得する。	
28	ソフトボール	2	基本技術(スローイング、キャッチング、バッティング)を習得する。作戦の立案および試合を通して実践能力を身につける。	
29	ソフトボール	2	スキルテストを行う。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。	
30	ソフトボール	2	スキルテストを行う。作戦の立案及び試合を通して、実践能力を身につける。	
期末	期末試験	[2]		
学習時間合計		30	実時間	22.5
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)
備考欄				

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)

